

平成 24 年度第 7 回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要	
開催日時	平成 25 年 1 月 21 日 16 時～16 時 45 分
開催場所	小山田記念温泉病院第 3 会議室
出席委員	毛受、鈴木、北村、山中、田中、牧野、家崎、浅野、大西 (敬略称、順不同)
新規研究計画の審議	
申請者	笹川 千恵子
研究名	エリスロポエチン製剤注射時の疼痛緩和を試みて ～皮下注射手技の工夫と検討～
研究内容 要旨	外来にてエリスロポエチン製剤使用者 10 名へのアンケートを行います。 注射手技や方法を工夫することにより痛みの軽減を図りたい。
審議結果	承認
意見	前回指摘された部分の訂正が適切に行われている。
参考	本研究は社団法人日本医師会治療促進センターの臨床試験登録システムに登録されている。
新規研究計画の審議	
申請者	柘植 綾乃
研究名	腰椎圧迫骨折による安静臥床中のストレス調査
研究内容 要旨	腰胸椎圧迫骨折の患者に対し、保存療法として床上安静を行っている。アンケートと日々の観察により床上安静期間中の対象者が感じる苦痛・ストレス傾向を明らかにするとともに、アロマトリートメントを行うことで苦痛の軽減を目指します。
審議結果	差し戻し
意見	介入研究であるので、実施について医師の助言を得る。 群間で治療効果に違いが出た場合の補償についても記載する。 トリートメントの方法、群分けの方法について再検討する。 期間の訂正をする。 研究名を統一する。 研究計画書の研究動機と目的の用胸椎→腰胸椎に訂正する。
新規研究計画の審議	
申請者	野口 佑太
研究名	上肢痙縮に対するボツリヌス治療後の作業療法効果
研究内容 要旨	ボツリヌス治療は運動機能の阻害因子と考えられる痙縮に対し効果的であることが証明されている。痙縮軽減後、機能訓練の必要性

	が求められているが、具体的な介入方法については十分な研究が行われていない。慢性期の患者に対して施行されたボツリヌス治療後の機能的作業療法介入効果を明らかにしていきたい。
審議結果	条件付き承認
意見	患者様の説明書に追加する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 補償・保険などの措置について追加する。</li> <li>・ 医師の診察を要する事態が発生した場合は、保険診療になることを追加する</li> </ul>
参考	本研究は共同研究機関である名古屋大学大学院医学研究科において既に実施の承認を得ている。
新規研究計画の審議	
申請者	和田 美奈子
研究名	発達障がい児に対するグループ介入の有効性についての検討
研究内容 要旨	コミュニケーションや集団行動の困難さを感じている児に対し作業療法を実施するうえでグループを用いて介入する意義を見出すことを目的として、対象者を4グループに分け、各グループに対し月1回、計5回の介入を実施。対象者1名に対し療法士1名が担当。1回の介入時間は50分とし、その後保護者に対して10分間のフィードバックを実施する。
審議結果	条件付き承認
意見	対象を訂正する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北勢地域の小中学生（児童・生徒）とする。</li> </ul> 研究実施申請書、研究等実施計画書に提出日を記入する。